

読んでほしいな。

ティーンズコーナー 新着図書 10月

新しく入った本の中から
ピックアップして紹介します



これが目じるし↑

【図解でわかる14歳から学ぶこれからの観光】 社会応援ネットワーク／著 太田出版
日本は「観光立国」というけれど、どういうこと？ 観光客が増えると、どんな効果がある？ 中高生へのヒアリングをもとにした31個の質問から、「観光」をより身近に感じてみよう！ Q&A 方式で読みやすく、わかりやすい“観光×地方創生” “観光×SDGs” “観光×地域活性化”……「観光教育」の決定版！

【クロスオーバー（STAMP BOOKS）】 クワミ・アレグザンダー／作 原田勝／訳 岩波書店
12歳の双子、ジョシュとJBは、元プロ選手の父親のもと、中学のバスケットチームで息の合ったプレーで敵を圧倒し、郡大会を勝ち進む。そんな中、父親の体調に異変が——。ジョシュの語りが詩となって、家族の物語を紡ぐ。ジャズやヒップホップのリズムが生きる文体で詩の可能性を若い読者に示し、米国で絶大な支持を得た作品。

【13歳からのMBA 自分で考える力が身につく！】 中川功一／著 綜合法令出版
「はたらくって一体なんだろう？」「仕事ってなんだろう？」まだ働いたことのない皆さんは、仕事で稼ぐことにどんなイメージを持っている？ 本書では「はたらいて、お金を稼ぐ」ことの正しいイメージを紹介するとともに、起業家とはどのような考えを持って良いのかその方法をやさしく簡単に紹介する。

【恐竜がもっと好きになる化石の話（岩波ジュニアスタートブックス）】 木村由莉／著 岩波書店
「化石ハンター」アンドリュースの探検エピソード、「卵泥棒」と名付けられたオビラプトル、硬いよろいで覆われたピナコサウルス、史上最大の陸生肉食哺乳類アンドリュースルクスなど絶滅動物の姿や進化をわかりやすく解説。世界各地での恐竜や太古の哺乳類の化石発掘を行う研究者が古生物学の魅力を語る1冊。

読みたかった本がある…
…かもしれない
《ティーンズコーナー》
をのどきに来てね。